



きのこの  
季節です

# 最上エコポリス通信

2018年10月号  
— mogami ecopolis tsushin — 山形県最上総合支庁



## 最上传承野菜フェア

ご参加いただきありがとうございました！

7月28日（土）～7月31日（金）に、第9回最上传承野菜フェアを開催しました。今回は天童市の飲食店を含めた合計26店舗の飲食店、旅館、産直施設などから参加いただき、「畑なす」などの旬の最上传承野菜を提供いただきました。毎年楽しみにしてくださっているお客様も多く、「とても美味しい」「また参加したい」という声も聞かれました。



提供された料理の一例



最上传承野菜フェア初日の7月28日には、小学生と保護者向けに『勤次郎胡瓜&菌床なめこ収穫体験バスツアー』を行いました。収穫したての勤次郎胡瓜はとても瑞々しく甘みもあり、「いつも食べている胡瓜より美味しい！」と子供たちにも大好評でした。引き続き、最上地域の宝である伝承野菜を子供たちに伝える活動に取り組んでまいります。

秋の伝承野菜が楽しめる！ 第10回フェアは11/12（月）～12/9（日）開催予定 農業振興課 29-1316

## 東北の「へそ」三県交流まつりを開催しました

9月11日（火）、12日（水）に、仙台市勾当台公園市民広場で、宮城県大崎地域、秋田県雄勝地域、山形県最上地域の郷土料理や物産の販売、郷土芸能披露、観光PRを行う東北の「へそ」三県交流まつりを開催しました。両日とも天候にも恵まれ、来場者数は2日間で19,000人、売り上げも過去最高を記録しました。

最上地域からは19店が出店し、山形の味覚「いも煮」や最上早生（もがみわせ）を使った「とりそば」などが飛ぶように売られていました。会場のステージでは、真室川音頭保存会と真室川音頭会館のみなさんから、真室川音頭をはじめとする民謡を、唄や演奏、踊りなどで披露していただき、喝采を浴びていました。また、新庄そばガールズも、最上早生（もがみわせ）そばをPRするパフォーマンス。山形県おもてなし課長のきてけろくん、かむてん、うめ子ちゃん、おおくらくんも登場し、我が最上地域を仙台の方々へしっかりとPRできました。

観光振興室 29-1312



# 中学生対象「進路を考える学習会」を開催しました(八向中、真室川中)

中学生を対象とした医療・福祉分野の「進路を考える学習会」を、9月4日(火)に新庄市立八向中学校で、9月6日(木)に真室川町立真室川中学校で開催しました。

八向中学校では看護師・薬剤師の方々から、真室川中学校では看護師・薬剤師・介護福祉士の方々から、仕事内容ややりがい等の講話をしていただいた後、仕事内容の体験も行いました。参加した生徒は、講話の中で、自分が目指す進路の具体的な説明があるとメモを取ったり、体験では最初は慣れない作業に戸惑いながらも笑顔を見せたりと、医療・福祉分野の仕事について楽しく学び、将来の職業に対する視野を広げることができました。

保健企画課 29-1256



## しごとトークを開催しました

高校生に地元で暮らし働く魅力を感じてもらうための事業を開催しました。

### 事業1：ようこそセンパイ！履歴書を見せてください！

9月5日(水)、新庄南高校1年生普通科80名を対象に地元で働く先輩との対話を通じて、職業観を養い、自身の進路を考えてもらう特別授業を開催しました。8名の先輩からは、ポスターサイズに拡大した履歴書を示しながら、在校生に対して仕事や日ごろの生活をお話いただき、生徒達は真剣にメモを取りながら耳を傾けていました。



### 事業2：若手女性従業員のリアルなおはなし

9月13日(木)、新庄神室産業高等学校において、最上管内の高校生78名が参加し、SHINJO・MOGAMIジモト大学のプログラムとして、若手女性従業員から地元で暮らし働くことに関するリアルガールズトークを行いました。女性従業員からは1日のタイムスケジュールなどが描かれたプロフィールシートを活用しながら



らお話いただき、生徒はそのお話をもとに自分が「理想とする将来像」と「今できること」を考えました。

参加者からは「将来のために考える良い機会となった」といった感想が寄せられました。

### 事業3：学生で起業ってあり？

9月15日(土)、ゆめりあにおいて、SHINJO・MOGAMIジモト大学のプログラムとして、地元起業家と対話しながら、地域資源を活用してビジネスプランを考える講座を開催しました。「起業」マインドを持って、意欲的な学生生活を送ってもらうとともに、地域への関心を高めることを目的としており、5名の高校生が参加しました。

講座では、起業の基礎知識を学ぶとともに、地元起業家から体験談をお聞きしました。その後、伝承野菜などの地域資源を活用して、経営理念や事業コンセプト、キャッチフレーズなどをグループで考えて発表しました。



地域産業経済課 29-1309

# 若者人材確保セミナー

9月6日、新庄市民プラザにおいて、若者人材確保セミナーが開催され、約60名が参加しました。

第一部では、山形県よろず支援拠点の大串康喜サブチーフコーディネーターを講師に、中小企業や小規模事業者が、自社の強みを活かしながら働き手の目線に立って人材募集・職場環境づくりを行うにはどのようにしたらよいかを学びました。

第二部では、大正大学地域構想研究所の浦崎太郎教授を講師に、「高校生・大学生は地域が育てる」と題し、人口減少が進む新庄・最上地域において、若者の地元定着促進のために企業・学校・行政が連携する重要性や、それぞれがなすべきことは何かを学びました。関係機関が一体となって、地元定着に取り組んでいく必要性を再認識する場となりました。

域産業経済課 29-1309



# 新庄中核工業団地立地企業協議会設立30周年記念式典及び「ふくだのやま あじさい保育園」竣工式

新庄中核工業団地は昭和59年に分譲が開始され、現在は約1,800名もの従業員が働く新庄最上地域で最大の雇用の場となっています。このたび、平成元年に設立した新庄中核工業団地立地企業協議会が設立30周年を迎えるに当たり、9月19日（水）に記念式典が行われました。

また、10月1日に工業団地内に企業主導型保育園「ふくだのやま あじさい保育園」が開園することから竣工式が行われました。この保育園では、団地内で働く従業員の子どもの受け入れる予定です。従業員の働きやすい環境づくりを進めることで、若い人材の確保の一助になることが期待されています。

地域産業経済課 29-1309



式典が行われました。この保育園では、団地内で働く従業員の子どもの受け入れる予定です。従業員の働きやすい環境づくりを進めることで、若い人材の確保の一助になることが期待されています。

# 「最上地域適期刈取・農作業事故防止キャラバン出発式」を開催！

稲刈り開始を目前に控えた9月6日（木）、最上総合支庁前で適期刈取・農作業事故防止キャラバン出発式を開催し、最上地区農業機械士会、管内の関係機関担当者等およそ40名が参加しました。

出発式では、農業技術普及課長が「今年最上地域は大雨に見舞われ、米づくりには厳しい年でしたが、高品質でおいしい最上産米に仕上げるために、適期刈取りの徹底を強く呼び掛けてください。また、秋の農繁期に向けて、農作業事故防止の啓発を強化してください。」と挨拶。続いて、最上地区農業機械士会の沓沢衛会長が、「最上産米の総仕上げと、安全な農作業を両立させるため、適期刈取りと農作業事故防止を生産者に広く呼び掛けていきます。」と力強く決意表明を行い、その後、普及課の広報車を先頭に広報活動に出発しました。

いよいよ今年の米づくりは最終ラウンドです。1等米比率100%の確保と農作業事故ゼロを目指し、当課では関係機関と連携して啓発活動を続けてまいります。

農業技術普及課 29-1330



## 第13回東日本チェーンソーアート競技大会開催

9月16日(日)と17日(月・祝)の両日、山形県遊学の森を会場に東日本チェーンソーアート競技大会が開催されました。今年は天候にも恵まれ、地元山形県内のカーバーを始め、北は青森県、南は富山県から11名のカーバーが集まりました。初日の16日は「メインカービング」で朝の9時から夕方16時までの7時間、「家族」をテーマに腕を競いました。最終日の17日は「スピードカービング」で、定められた時間内に課題のものを彫り上げる競技が実施されました。

会場内は、チェーンソーの豪快さとカーバーの繊細さに魅了されていました。

森林整備課 29-1348



<優勝作品>

「お母さんのおなか いいなあ」

## 第38回ふながた若鮎まつり

最上地域の最初の秋まつりとなる恒例の「ふながた若鮎まつり」が、今年も9月8日(土)に開催されました。

8月の度重なる豪雨により、会場となる小国川河川敷のアユパークふながたも大変な被害を受け、開催が危ぶまれていましたが、舟形町の皆さんが一丸となって準備を進め予定どおり開催できたことで関係者の皆さんは、ホッと胸をなでおろしていました。

開会式には、若松副知事がかけつけ、まつりの開催をお祝いするとともに災害にあった町の皆さんを励ましました。

当日は、雨が降ったり止んだりの生憎の天候でしたが、町内外から多くの観光客が訪れ、香ばしい鮎の塩焼きや田楽、鮎ごはんや舌鼓を打っていました。最上の秋まつりはこれからが本番です!!

観光振興室 29-1312



## 台湾での山形県観光商談会について

9月11日(火)台中市、12日(水)台北市で、山形県観光商談会が開催されました。この観光商談会には、山形県より、県内各地の観光業者22名、行政関係者11名が参加し、台湾の旅行会社のエージェント等153名が参加しました。

併せて、台湾の高等学校向けの教育旅行商談会や学校訪問も行われ、最上地域から、最上峡芭蕉ライン観光(株)、瀬見温泉ゆめみの宿観松館、肘折温泉四季の宿松屋、田舎体験塾つのかわの里、新庄市クールジャパン新庄推進室、最上総合支庁観光振興室が参加し、アメージングな最上の冬の魅力をPRしてきました。今回を契機として、インバウンドをはじめとした国内外との交流拡大が図られ、台湾から最上地域を訪れる方が増えていくことを期待しています。

観光振興室 29-1311



# 平成30年度最上地区世代間交流交通安全教室

9月20日（木）新庄保育園において、最上地区世代間交流交通安全教室が開催されました。この交通安全教室は子どもと親、祖父母の3世代が交通安全の意識を高め合うことで、子どもと高齢者の交通事故防止を図ることを目的としています。今年度は最上地区交通安全母の会連合会と新庄市交通安全母の会が協力し開催しました。また、新庄警察署や日本自動車連盟（JAF）の皆様からも御協力いただき、交通安全のお話やシートベルトと



反射材の効果について説明していただきました。園児たちは家族と一緒に歩行訓練やシートベルト着用効果体験、反射材効果体験を行い、交通安全について楽しく学びました。

総務課 29-1242

# 秋の交通安全県民運動がありました

9月21日（金）最上広域交流センターゆめりあ「花と緑の交流広場」において、秋の交通安全県民運動最上地区出発式及びパレードを実施しました。出発式では最上総合支庁長（最上地区交通安全対策連絡協議会長）が「歩行者にとっては明るい色の衣服と夜光反射材の着用を、自転車・自動車にとってはライトの早め点灯を心がけ、人も車もお互いに交通事故防止の意識を高め合えるよう運動に取り組んでまいりましょう。」と挨拶。また、向陽幼稚園の園児によるアトラクションとして「日本太鼓、鼓笛隊による演奏」や交通安全の誓いの言葉を元気よく



発表してもらい、出発式を盛り上げていただきました。パレードでは新庄警察署のパトカーを先導とし、各団体や市町村の交通安全広報車が、交通安全広報活動のため出発しました。

総務課 29-1242

# 最上小国川写真コンテスト作品募集中!

## 【概要】

「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに第3回となる写真コンテストを開催しています。最上小国川の魅力（最上小国川の風景、体験や思い出など）を撮影した作品を募集しています。

## 【応募締切】

平成30年11月30日（金）まで（当日消印有効）

## 【入賞】

賞金のほか、「最上小国川流域の特産物」をプレゼント!

※詳しくは下記お問い合わせ先のURLをご確認ください。

URL: <http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>

連携支援室 29-1240



▲QRコード▲  
HPへアクセス  
できます。

第3回 最上小国川  
写真コンテスト

募集テーマ 「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」  
最上小国川の魅力（最上小国川の風景、体験や思い出）を撮影した作品を募集します。

募集締切 平成30年11月30日（金）まで（当日消印有効）

お問い合わせ先  
〒999-0002  
山形県庄内市大字天道上2004  
最上小国川流域未来館環境情報課  
（山形県最上郡庄内町新庄駅前西側4階内）  
TEL 0233-29-1240  
FAX 0233-29-1240  
URL <http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>  
※詳しい応募方法は募集要項をご覧ください。

主催：最上小国川清流未来館機構

# お知らせ

## ★毒きのこによる食中毒に気をつけましょう！

- ① 知らないきのこは**採らない**こと。
- ② 同じようなきのこがたくさん生えていても、それと似た毒きのこが混じって生えていることがあるので注意すること。
- ③ 少しでも**不安を感じたら廃棄**すること。
- ④ 安易に**おすそ分け**はしないこと。
- ⑤ 「縦に裂けるきのこは食べられる。」、「毒キノコは美しい。」、「虫の食べたきのこは食べられる。」などという言い伝えは、科学的根拠の全くない迷信です。

10月は「きのこ」  
食中毒予防月間です

保健企画課 生活衛生室 29-1260

## 第17回「最上を拓く高規格道路」建設促進合同大会

高規格道路網の整備促進に向けて、事業中区間の早期完成と、未事業化区間の早期事業化実現のため、地域の皆様の力と熱意を結集して、第17回となる大会を開催します。

【日時】10月11日（木）14:30～16:30

【場所】新庄市民文化会館 大ホール

【内容】・基調講演 根本 敏則 氏（敬愛大学教授）  
「重要物流道路による物流生産性革命」  
・意見発表 地域の方3名

※入場無料、申込不要 建設総務課 29-1391

## 高校生対象医療現場見学会（秋期）を開催します

7月に行った見学会の第2弾で、今回は土曜日開催です。（開催内容は7月と同様です。）

医療職に興味のある生徒さんはぜひご参加ください！

●日時 10月20日（土）14:00～16:00

●場所 新庄徳洲会病院

●対象 医療職を志す管内の高校生

申込は各学校の進路指導担当の先生へお願いします。

保健企画課 29-1256

## 薬と健康の週間



【期間】10/17（水）～10/23（火）

病気やけがを治すのに役立つ「薬」。正しく使わないと思わぬ副作用を引き起こすこともあります。

薬剤師などの専門家から適切なアドバイスを受け、正しい使用方法を理解してから使しましょう。

保健企画課 29-1257

## ～最上地域みんなで子育て応援団～ 子育て支援者向け研修会の開催

◆日時 10月28日（日）13:30～15:30

◆場所 最上総合支庁 5階 講堂

◆内容 最上地域で初開催となる「保育所保育指針の改定」に係る講座です。保育者のほか、子育て支援に係わる方に必要な情報がたくさんありますので、ぜひご参加ください！

子ども家庭支援課 29-1245

## タクシーで巡るよくばり美食旅

この度、最上地域の美食と最上川舟下り等をタクシーで巡る大変お得なモニターツアーを実施します。

①最上のイタリアン・フレンチ

②新庄・もがみそば街道

③愛をとりもつラーメンと最上伝統野菜スイーツ

※事前予約が必要（2人～）。

＜問合せ・申し込み＞新庄タクシー ☎0233-22-3955

観光振興室 29-1311

## 《最上管内献血日程》平成30年10月

10月3日（水）一般社団法人最上建設クラブ

10月18日（木）レキシントンホール

10月20日（土）新庄市保健センター

10月25日（木）最上町中央公民館・小国川ダム展望台前

10月20日、25日は骨髄バンクドナー登録会も同時開催します。

保健企画課 29-1258

発行日：平成30年10月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605

HP (<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)

Twitter

